

前沢牛のふるさと「前沢」

奥州市前沢は、東西約13.6km、南北約8.9km、総面積72.34km²のひし形に近い形をした町です。岩手県の南部に位置し、中尊寺金色堂で知られる平泉の文化圏内にあります。そのため、奥州藤原氏の前史ともいえる安倍氏関連の遺跡や源義経伝説が数多く残されています。

町の中央を東北地方の大河である北上川が南北に流れ、その両側の平坦地帯に拓けた水田は県南屈指の穀倉地帯を形成しています。藩政時代には伊達藩領に属し、北上川による船運で栄えたと言います。その肥沃な土地から生産される「ひとめぼれ」を主体とした生産性の高い米づくりが定着しています。

また、国道4号、東北自動車道およびJR東北本線が町の中央をとり、東北新幹線への接続もスムーズであるなど首都圏（消費地）への交通の便に大変恵まれています。このことは、米と前沢牛の産地である農業の町、前沢にとって流通の面で大きなメリットとなっています。



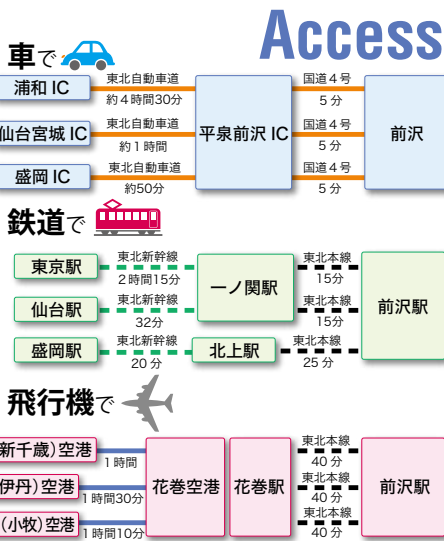
前沢牛まつり

肉質日本一を誇る「前沢牛」を格安で食べられるお祭り。毎年、有名な歌手を招いて、コンサートを開催し、牛の鳴きまねコンテスト等の無料イベントを行うなど、各地からやってくる、肉好きのお客様で賑わいます。



奥州市牛の博物館

博物館のテーマは、「牛と人との共存を探り、生命・自然・人間を知る」。牛の進化の過程や牛の特徴など、生物学に関する展示や、牛と人のかかわりに関する展示など、牛にまつわる資料が展示されています。



お問い合わせ

岩手前沢牛協会

岩手県奥州市前沢字七日町裏71番地

TEL.0197-34-0263 FAX.0197-56-2171

URL <https://www.maesawagyu.net>

岩手前沢牛協会

検索